

福井県立病院にて上部、下部消化管内視鏡検査を受けられた方へ

当院では東京大学医学部附属病院 消化器内科と共同して「人工知能（artificial intelligence、AI）による胃癌・大腸癌発生予測画像診断システムの構築」という観察研究を行っております。

【研究課題】

人工知能（artificial intelligence、AI）による胃癌・大腸癌発生予測画像診断システムの構築

【研究機関名及び当院研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 主任研究施設 東京大学医学部附属病院 消化器内科
東京大学大学院 情報理工学系研究科

福井県立病院 研究責任者 福井県立病院 消化器内科 波佐谷兼慶 医長

【共同研究機関】

研究機関

東京大学大学院情報理工学系研究科 原田達也 教授
東京大学医学部附属病院 消化器内科 新倉量太 助教
東京医科大学 消化器内視鏡学科 永田尚義 准教授
長崎みなとメディカルセンター消化器内科 本田徹郎 医長

【研究期間】

倫理委員会承認日～2024年3月31日

【対象となる患者さん】

2006年4月～2020年11月の間に当院で上部、下部消化管内視鏡検査を受けた患者さん。ただし、17歳以下の患者さんは含みません。

【研究の意義】

内視鏡検査は胃癌、大腸癌の診断に有用な検査です。しかし、その疾患の発生を予測することは難しく大きな課題になっています。近年、進化が著しい人工知能（artificial intelligence、AI）は優れた画像認識能力を持ち、臨床医学へ応用されることが期待されております。そこで東京医科大学、東京大学大学院情報理工学系研究科と癌発症の予測診断のための自動画像診断システムを開発することになりました。開発した自動画像診断システムによって胃癌、大腸癌の発生予測診断精度を向上することができるのではないかと考えられます。

【研究の目的】

AIを使用した胃癌・大腸癌発生予測の内視鏡検査画像診断システムを構築します。

【研究の方法】

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、福井県立病院倫理委員会の承認を受け、福井県立病院長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテ

に記録されている年齢、性別、上部・下部消化管内視鏡検査画像、病理検査のデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

患者さんのデータは、解析する前に氏名・生年月日の個人情報を削り、どなたのものか分からないようにした（匿名化）上で、波佐谷兼慶が、施錠できる室内に置かれたセキュリティが確保されたコンピューターまたはサーバーで厳重に保管します。また、匿名化された患者さんの上部・下部消化管内視鏡検査画像は、東京大学大学院情報理工学系研究科の原田達也が施錠できる室内に置かれセキュリティが確保されたコンピューターまたはサーバーで厳重に保管します。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2021年3月31日までにご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。ただし、ご病状により患者さんご自身で意思表示が難しい場合、もしくは患者さんがすでにお亡くなりになっている場合などは、ご家族からのお問合せやデータ使用をご希望されない旨のご連絡も承ります。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後 5 年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学医学部附属病院消化器内科の奨学寄附金から支出されます。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、患者さんへの謝金はございません。

2020年11月

【問い合わせ先】

福井県立病院 消化器内科 医長 波佐谷 兼慶
住所：福井県福井市四ツ井 2-8-1
電話：0776-54-5151 FAX：0776-57-2945